



社会医療法人近森会

発行 ● 2011年6月25日

# ひろっぱ

# 7

# Vol.300

www.chikamori.com 〒780-8522 高知市大川筋一丁目1-16 tel.088-822-5231 fax.088-872-3059 発行者●近森正幸/事務局●川添昇

## 「ひろっぱ」は300号を迎えました。

創刊以来300カ月、四半世紀が経ちました。掲載されたスタッフの方々、編集に携わった多くの方々に感謝します。

### 書くことで自分と向き合う

社会医療法人近森会理事長  
近森 正幸

昭和59年11月、父の逝去に伴い37歳で理事長になり、1年8カ月後の昭和61年7月に「ひろっぱ」を創刊しました。右も左も分からないなか突然数百人のトップになって、病院の進むべき方向を常に発信していかなければならないことや、みんなが集まってワイワイと遊んだひろっぱのような情報交換の場を、との思いから誕生しました。

厳しい医療環境のもとで外科医として走り回っていましたが、経営者としては手探り状態で、いまから考えると暴風雨のなか、ただひたすら上を向いて絶壁をよじ登っているような思いがしていました。

当時は「ひろっぱ」でも前進あるのみで、やるしかないという記事が多かったように思います。いまから5年ほど前の平成18年4月、近森病院がDPCによる一日包括払いを導入したとともに、これまで行ってきたマネジメントが一気に効果を現し、突然絶壁から山の稜線に出ることができ、これから進むべき道がハッキリと見えてきました。

病院というところは病気を治すところであり、患者さんには早く自宅に帰っていただくという、こうした方向を当たり前のこととして、さまざまな形で示し続けてきたように思います。この四半世紀「ひろっぱ」という場があったからスタッフひとり一人に病院の進むべき方向を示すことができたといえます。この25年間で誌上に登場し



たスタッフの笑顔は数知れません。そうした多くのスタッフのことをつぶさに知ることができたことも大きな収穫でありました。

わたし自身についても、年頭所感や一面トップ記事だけでなく、ほとんど欠かさず一面に随筆を書かせてもらってきました。旅行先の出来事や出会った人々のこと、日曜日やお酒の話、通勤途中の路傍の花や雨に濡れる蜘蛛の巣などの取るに足らないことに、日々

### 「ひろっぱ」と共に25年、 そしてこれからの近森会

社会医療法人近森会管理部長 川添 昇



私の事務長・管理部長の職歴と「ひろっぱ」の発行歴とがぴったり重ね合っている。理事長やみんなに支えられて300カ月勤め続けることができた。感謝の念でいっぱいである。

今では考えられないが子供の頃は内気で、ひろっぱの隅っこで一人遊びすることが多く、みんなでワイワイ遊べるのが夢であった。そんな思いが「ひろっぱ」の命名の由来でもある。近森会グループの歴史や思いがまさにぎっしりつまっている記録集ともいえる。

新就任の理事長の宣言した「量から

感じたことや心を動かされたことを「ひろっぱ」という誌上で文章化することで、人間としてより深く人生を楽しめるようになったのではないかと感じています。

書くことで自分と向き合い、自分自身の人間性が養われたように思います。私にとっては、こうしたことは想定外の「ひろっぱ」の効用でした。

ちかもり まさゆき

質への病院改革」により近森会は絶え間なくスタッフを集め、建物の増改築を行い、設備や医療機器を更新し、さまざまなシステムの変更、新設を行ってきた。その間グループの総病床数は579床から722床となり25%程度しか増えていないにもかかわらず、職員数は472名から現在の1500名と、約3.2倍となっている。質の高い医療を行うにはいかに多くの人的投資が必要か良くわかっていただけけるのではな

2面に続く

いかと思う。

「医師や看護師、スタッフが増えず  
ぎて倒産した病院はない」といわれる。  
まさにこの多数精鋭をめざした近森会  
の歴史でもあることが「ひろっば」の  
誌面に出ているように自負している。

近森会 5 年計画はロジスティック  
の基地「新管理棟」がまずこの 4 月に

竣工し、「外来センター」、「北館病棟」  
の建設、「新館」の大改造、「新本館」  
建設へと続いて行く。

このように近森会グループは絶えず  
時代のニーズを見据えながら変革を続  
けて地域社会に求められる存在であり  
続けて行かなくてはならないと思う。

かわぞえ のぼる

と意思で満ちあふれています。

理事長の年頭所感で医療を取り巻く  
情勢や当会の進む道を掴み、毎月のエ  
ッセイから人間としてのやさしさや遊  
び心などを吸収し、多くの仲間の意外  
な一面を発見できたのは「ひろっば」  
でした。

「急性硬膜下血腫で入院した患者さ  
んが二週間くらいの昏睡状態の中でけ  
いれん発作が続き、高齢のため心配し  
たが、足浴をしていると『おお、気持  
ちがえい』と小声でニコニコうれしそ  
うに言い、意識が戻ってき、食事が自  
分でできるようになった。入浴・食事・  
排泄など日常生活の援助に忙しい毎日  
だが、そんな声に出会ったとき幸せな  
気持ちになる」

これは昭和 63 年、看護師の S さん  
が若かりし日に書いた一文です。今も  
あちこちで体験しているこんな喜びを  
共有し合って、患者さんの自宅での生  
活が可能になるように、患者さんを勇  
気づける看護の情報交換を発信してい  
きたいと願っています。

かじはら わか

## 「ひろっば」創刊 300 号によせて

近森会グループ統括看護部長  
**梶原 和歌**



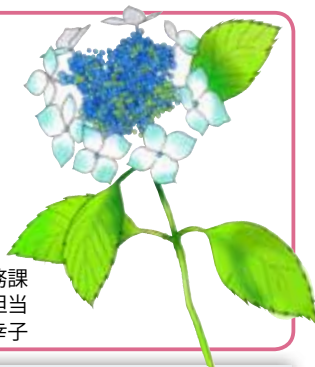
平成 23 年 3 月 11 日に発生した東  
日本大震災から 4 カ月がたちました。  
原発事故が加わった未曾有の試練の中  
で最も求められたものは生存に欠かせ  
ない水・食糧と共に「正しい今の情報」  
だったと思います。「ひろっば」の創  
刊から 300 カ月を迎えたこの 25 年

は看護部にとっても本当に変化の激し  
い時代でした。「ひろっば」誕生の時  
期からやっと基準看護となり、新看護  
体系を経て入院基本料の要件となるま  
で、誌面はその時々をエネルギーいっ  
ぱい、明るく楽しく働いた仲間の笑顔

## 7月の歳時記 紫陽花

近森病院 3 階西病棟看護師

岩本 幸子



雪の下科で、「hydro (水) + angeion (容  
器)」が語源。花の色は土壌によって変わる。  
酸性は青色っぽくなり、アルカリ性では赤  
色っぽくなる。一説には土壌によるのではなく、  
遺伝的という説もある。こんなことを考えなが  
ら紫陽花を見に行つてはどうですか？

絵・総務課  
広報担当  
公文幸子

## きっかり 300 カ月 300 号

「ひろっば」編集担当

**和田 樹霖**



「ひろっば」の創刊号か  
らわたしは編集の実務面  
に携わってきました。創刊当時は現理  
事長の就任直後で、「量から質へ」の  
大転換期に当たっており、以来、絶え  
ず病院改革して変わってきた近森会  
で、医療に門外漢であった私はその動  
きにアップアップしながらついてい  
くのがやっとでした。

四半世紀の間、いちどの欠号も合併  
号も出さずに、なんとかやってこれた  
のは病院スタッフの協力や力強い支え  
があったからだ、感謝しています。

わだ しげなが

## ◀ 内科新入院患者数



近森病院へは、高知医科大学 (現高  
知大学医学部) にいる頃、救急教育の  
ため 2 週間に 1 回研修医をつれて当直  
に来ていました。1987 年のある日、近  
森院長より突然呼びだされ、外科系の  
救急だけでなく、これからは内科の充  
実が急務であるから

のが当院の特徴かと思っています。

私の専門である循環器領域では、  
1990 年にはそばそと始めた冠動脈イン  
ターベンション (PCI) は年間 650 件前  
後、2000 年に開設した心臓血管外科 (入  
江博之部長) の心臓大血管手術も年間  
200 件近くを数える  
ようになりました。

### — 私の流儀 — 3

## 近森病院内科の歩み



近森病院副院長

はましげ なおひさ  
**浜重 直久**

協力してほしいと訴  
えられ、院長の医療  
に対する熱い思いに  
ほだされて、1988  
年からお世話になる  
ことになりました。

当初は、内科医 7  
人、年間新入院患者  
1,000 人以下で、病  
院も汚く理想と現実

のギャップにとまどうことも多かった  
のですが、その後、川井和哉、山崎正博、  
栄枝弘司、深谷真彦各部長はじめ、た  
くさんの医師が集まってくれ、現在は  
内科医 28 人、年間新入院患者 5,000 人  
以上を数えています。循環器内科、消  
化器内科、神経内科では県下を代表す  
る施設になりましたが、今でも内科は  
ひとつということで、医局も病棟も共  
有し、垣根のない医療を心がけている

個人的には、活  
動の場を提供して  
いただいた近森院  
長にたいへん感謝  
していますし、こ  
の間全面的にバッ  
クアップしていた

だいた関係者の皆様により  
お礼を申し上げたいと思  
います。

“内科医は generalist で  
あるべき”というのが私の  
信念ですが、これからも  
特殊な領域の専門家として  
だけでなく、一内科医と  
しても一社会人としても  
reasonable (妥当) と思  
われる医療をこころがけて  
いきたいと思っています。

## 関節鏡視下膝前十字靭帯再建術

近森病院整形外科部長 上田 英輝



左より緩くなった前十字靭帯、骨孔二つ、再建した靭帯



スポーツ選手が活動中に「膝が入る」と、中にある前十字靭帯 (ACL) を切ってしまうことがあります。走っているとガクッと「膝折れ」するのが特徴で、激しいスポーツではパフォーマンスを発揮できなくなります。切れた靭帯は単純に縫っても治らないので作り直すしかありません。

鉛筆ほどの関節鏡というカメラを膝の中に差し込んで傷んでしまった靭帯を取りさり、太ももにあるハムストリング腱を靭帯のように採型して、ピンツと緊張させた状態で骨に固定します。術後は厳しいリハビリが待ってい

ますが、膝折れする足ではできなかったスポーツに、復帰できたときの喜び

うえた えいき

### 近森に入ったら、まず献血を！！

#### 近森会は献血を推進しています

輸血療法委員会委員長

近森病院麻酔科部長 畠中 豊人



輸血は医療の非常口

6月8、9日の2日間にわたり行われた、献血キャンペーンにご協力をいただいた皆さま、有り難うございました。今回は前回バレンタイン献血の141名を大幅に上回る190名の方のご参加をいただきました。当日の体調などの事情でお断りさせていただいた方を除き、200ml 献血 43名、400ml 献血 83名、合計 209 単位もの貴重な血液のご提供をいただきました。これは近森会で使用する赤血球濃厚液の半月分を優に超える量となります。

先立って実施したアンケート調査では、新入職員の実に62%の方が『献血したい♥』との回答を寄せて下さい



ましたが、今回の大きな成果には、この新入職員の皆さんの力が大きな原動力となっています。本当にありがとうございました。

これからも近森会は、高知県全体の輸血医療に貢献できるように、新入職員のみならず全職員が一丸となって頑張りたいと思います。どうかよろしくお願ひいたします。

はたけなか しげと



### 聖なる苺ちゃん

近森病院 3階東病棟看護師

松本 有里



GW明けに、苺狩りに行ってきました。毎年行ってますが、この時期が一番甘くて美味しいのです(喜)。

でっ、苺狩りの最中に「苺ってどうしてこんなに赤くて甘いんだろう……」と、ふっと思ひ、家に帰って調べてみたら、こんな神話があったのでご紹介します。

「イチゴはキリスト教では<正義>をあらわす象徴として使われます。また聖母マリアを象徴するが、これはゲルマンの母神フリッグが死んだ子どもたちにイチゴを食べさせて天国に送ったという神話からきたものです。(出典：平凡社『世界大百科事典』)

だから、聖夜のクリスマスケーキには聖なる苺ちゃんがのっかっているのですね……(感激)

まつもと あり

### リレーエッセイ

#### 旅行に癒されて

近森オルソリハビリテーション病院

作業療法士 古用 優世



佐賀県呼子名物「イカの活き造り」

高知県にきて2年が経ちました。趣味は旅行で、月に一度はどこかへ出かけています。九州の佐賀県までイカを食べに行ったり、淡路島まで温泉旅行に行ったり、京都までお寺巡りをしに行ったり……。忙しい時に限って、遠くへ旅行に行ったり人と一緒に遊んだりしたくなります。

人は、①ADLの自立②役割、仕事③遊び④人間関係⑤休養、この五つが満たされて初めて「安心」を確保することができるということです。色々な場所へ旅行に行ったり、懐かしい友人と一緒に遊んだり、綺麗な物を見て癒されたり……。旅行を通して私は、知らない間にこれら五つのことを満たそうとしていたのだと思います。

もしかしたら日頃、この五つが満たされていない患者さんは多いのかもしれない。身体面だけでなく精神面も



勉強してきたはずなのに、目に見えるものばかりを追いかけて来たように感じます。

「人が行動するのには必ず理由がある」このことを常に頭において、病棟の患者さんを見て治療していきたいです。

ふるもち まさよ

## 「乞!熱烈応援」

### あっという間に

近森病院消化器内科部長 高松 正宏

昨年10月より近森病院に赴任し、あっという間に8カ月が過ぎました。新しいシステム、初めての電子カルテに戸惑いながら、周りの皆さんに支えてもらいつつ、なんとか日々の仕事をこなしていけるようになりました。

さて、つい先日科長としてご挨拶をしたばかりなのに、今度は部長としてのご挨拶となりました。



今年は多くの研修医の先生が近森病院に來られ、指導的立場としてあらためて身の引き締まる思いです。ただ、医師が医師だけの教育にとどまっても、患者さまに満足していただける

医療を提供できるわけではありません。今年度より、5階東棟カンファレンス、内視鏡スタッフへの講義なども始めさせていただいておりますが、今後もスタッフ教育がさらに充実できるような働きかけを行っていきたくております。

現在、外来棟建設など新しい近森病院建設に向けたいへんな時期ではありますが、患者さまへのよりよい医療の提供を第一に皆さま方と力を合わせていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願ひします。

たかまつ まさひろ

## 近森リハビリテーション病院の新しい役職の紹介です。

### 療法士長の新設について

近森リハビリテーション病院  
リハビリテーション部部长  
松木 秀行



昨年5月よりリハ部主任を30床に1名配置し、セラピスト間の調整と他職種への情報提供の促進を行ってきました。

具体的には、PT、OT、ST（セラピスト）が実施するリハサービスの提供量と訓練プログラム、生活機能の改善状況や医療安全への対応など、各セラピストが患者さんに行っているリハサービスがチームの方針や目標に向かって効率よく提供できているかなどの把握です。

この試みが軌道にのり、この度、6月16日付で理学療法士3名、作業療法士3名の合計6名の管理職となる療法士長が誕生しました。これからは、病棟を拠点とし、看護師長と共に病棟運営に携わり、患者さん一人ひとりに対して多職種が質の高いサービス提供できる活動をしていきます。

まつぎ ひでゆき

### 介護福祉士主任補佐の新設

近森リハビリテーション病院  
看護部部长 寺山 みのり



この度、各ユニットのリーダー介護福祉士6名が主任補佐に昇格しました。活動の視点は、「ケアの質、専門技能、教育」です。

現在、介護福祉士は看護部に所属していますが、看護管理者が介護福祉士の専門性を明確にするには限界があり、これを介護福祉士自身の力で実現してもらいたいと考えました。また、多職種協働の経験や、その中で培ってきたケアの視点や技術を持つ彼らだからこそ、少し視点を変えれば新しい組織づくりができると思います。

介護福祉士教育委員会の立ち上げ、ユニットの医療安全活動、主要な会議や委員会への参画など、医療チームの中での介護福祉士の位置づけを確認しながら、広い視野で、そして常に現場のケアに目を向けた活動を期待します。なによりも介護福祉士としてやりがいを持って働き続けられる環境づくりを目指しています。

てらやま みのり



▲近森リハビリテーション病院看護部介護福祉主任補佐のみなさん  
前列左から4階西病棟高林妙、3階東病棟新井佐和子、2階東病棟寺川幸  
／後列3階西病棟平田翼、2階西病棟鎌倉誠、4階東病棟福井幸子

▲近森リハビリテーション病院リハビリテーション部療法士長のみなさん  
前列左から土居英雄作業療法士、岡田耕平理学療法士／後列森沢三重作業療法士、和田仁美理学療法士、西内めぐみ作業療法士、西森知佐理学療法士

## ●ハッスル研修医●

## 初期研修医 大川 良洋

今年4月から循環器内科で研修しています。病棟に出て1カ月くらいですがまだまだ分からないことが多く、毎日指導医の先生に熱いご指導を受けています。

実際病棟に出て感じたことですが、最近では病院内でもすっかり情報化が進んでいて、カルテを開けば体温や血圧などのバイタルサインからCT画像まで患者さんの情報がたくさん入ってくるので、カルテを見る時間ばかり増えてしまって、患者さんのところに実際に足を運んで話を聞いたり診察をしたりする時間が少なくなりがちだと感じました。僕自身も患者さんの病態を把握するのに必死で、長い時間パソコンに向かってカルテを見ていることがよくあります。

もちろんカルテの内容は重要なことばかりで、しっかりカルテを読むことは大切だと思いますが、できるだけ多く患者さんのところに足を運んで患者さんを診るということを心掛けて研修していきたいと思っています。 おおかわ よしひろ

大川良洋



森岡汐里

## 初期研修医 森岡 汐里

初めまして、研修医一年目の森岡汐里と申します。3月の東日本大震災発生時、私は群馬県にいました。幸い大きな被害はありませんでしたが、小さな変化はたくさんありました。ホームセンターのがらんどうの棚、「魚の仕入れ元もだめになっちゃって……」と嘆く行きつけの飯屋のおかみさん、4時間待ちのガソリンスタンド、嘘だと思いたいようなテレビの映像、一斉に鳴る緊急地震速報。計画停電エリアには大学病院も含まれ、厳しい状況に悩みながらも懸命の医療が行われていました。

先日、DMATチーム報告会に出席しました。非常時に協力して一人でも多く助けるためのシステムに感銘を受け、物資や電力が十分でなくても人間の力でしなければならないこと、できることはたくさんあると感じました。私も誰かの手助けができるよう努力していきたいと思います。最後に、被災された方々にお見舞い、お悔やみを申し上げますとともに、一日も早く安心して暮らせるよう心よりお祈り申し上げます。 もりおか しおり

## 薬事委員会勉強会

## 院内勉強会を開催して

薬事委員会／薬剤部部长 筒井 由佳



講演をする高知大学公文義雄先生



5月31日、高知大学医学部准教授で近森病院非常勤内科医師公文義雄先生にお願いし、『糖尿病治療薬 最新の知見』と題する院内勉強会を開催いたしました。低血糖の発現頻度や副作用の少なさが注目される「インクレチン関連薬」と呼ばれる新たな作用機序の薬剤が国内では10年ぶりに登場し、2型糖尿病の治療は変革期を迎えるといわれています。

公文先生より新しい薬剤の最新のエビデンス、その臨床的な意義と特徴について、また経験を交えた糖尿病の新しい治療戦略についてお話を伺いまし

た。さらに「低血糖による空腹感が肥満につながる。低血糖を起こさせない。肥満をつくらない」など薬物療法だけでなく食事療法と運動療法の重要性を再認識することができました。

糖尿病治療に対する関心の高さを反映し、医師49名、看護師22名、コメディカル55名と多数の参加者があり、活発な質疑応答が行われ、充実した勉強会となりました。 つつい ゆか

## 第58回よさこい祭

## 縦横夢人

近森会は今年2回目の出場になります。踊り子隊「ちかもり縦横夢人」の日程は、中央公園での前夜祭は8月9日の20:23から追手筋での本祭のonAIRは8月10日の16:16からと11日20:25からです。



## よき友くすし

14

おうと  
嘔吐はつらいよ

近森病院薬剤部 濱田 真夏

が登場し、吐き気が強く予想される場合にも全く吐き気を感じないという患者さんも多くなってきました。

一般的に吐き気や嘔吐の原因は軽い食中毒や胃潰瘍、めまいなどの軽度のものから、くも膜下出血などの命に関わる病気まで様々です。薬の重い副作用の初期症状として吐き気や嘔吐が起きることもあります。その場合は重い副作用を未然に防ぐために、お薬をお渡しする時に薬剤師から吐き気に関する説明をさせていただいています。

吐き気は対症療法だけではなく、原因の治療をすることが大切です。吐き気や嘔吐が続く場合は医療機関を受診し、薬を飲み始めて吐き気が出てきた場合はまず薬剤師にご相談下さいね。

はまだ まなつ



みなさん、制吐剤（吐き気や嘔吐を止める薬）にはどのようなものがあるかご存知ですか？ 誰もがいちは経験したことがある吐き気や嘔吐。あの気持ち悪さをどうにか止められないかと考えたことはないでしょうか。

制吐剤を大きく分けると①脳に働く中枢性制吐剤、②胃などに働く末梢性制吐剤、③脳と脳以外の両方に働く中枢性・末梢性制吐剤があります。最近では、抗がん剤治療の副作用である強い吐き気や嘔吐にも効果のある制吐剤

医 ● 療 ● 安 ● 全

# 多い転倒や転落

近森リハビリテーション病院  
リハビリテーション部療法士長 岡田 耕平



回復期病院で医療安全の問題となるものに、転倒や転落が必ず取り上げられます。近森リハビリテーション病院でも、誤薬や食事関連に次いで転倒や転落が三番目に多く、とくにリハ部門の22年度のインシデント（ヒヤリハット）では、転倒、転落が年間41件であり最も多くみられました。

転倒、転落に対する医療安全の取り組みとしては、インシデント報告書をまとめ各部署へ報告する。ポスターを作成し、注意を喚起する。勉強会を開き、技術や知識の拡大に努める。この三つ

を行っています。また、各ユニットや各科でも個別の勉強会や検討会が行われており、転倒や転落に対しての予防と防止に努めてくれています。

この日々の研鑽により、21年度は3件であったリハ部のアクシデントも22年度では2件となっていました。

これからもスタッフの技術や知識向上、努力により、一件でもアクシデントにつながる転倒が少なくなるよう努めていきたいです。 おかだ こうへい

## 管理部長の こだわりヘルシー美食 22

近森会管理部長 川添 昇

わたしのところには院内誌や広報誌が毎月たくさん送られてくる。それぞれの施設の雰囲気や良さがよく出ている。



そのなかで当院と同じく管理栄養士さんの作られた料理シリーズで、KBかわ病院のものがいつも美味しそうである。

若い頃はまったく肉食系で、単なる「野菜いため」より「肉野菜いため」だとやたら嬉しかった。それにスープと大盛のご飯で大満足だった。

今回はKBかわ病院のレシピをちょっぴりアレンジさせていただいたものををご紹介します。

### 「春野菜の豚肉巻き」 —おじさん好み—



画・臨床栄養部科長 吉田 妃佐

〈作り方〉

- ① 春キャベツをさっと湯がいて水気を切り適宜刻む。
- ② ニラを1cm程度に切る
- ③ しょうがとニンニクをみじん切りにする。
- ④ ①、②、③を混ぜ合わせ薄切りのロース肉（もちろん窪川産が美味しい）で巻き、軽く塩コショウをする。
- ⑤ フライパンにオリーブオイルを入れ④をしっかりと焼く。あまり焦さないように。

〈食べ方〉

半分にサクッと包丁を入れるとニラとキャベツの緑のコントラストが美しい。好みでポン酢、レモン汁等で食す。

上品な甘みのある野菜餃子のように、それでいてコクがある。

スパークリングワインで口の中をさっぱりさせながら食べ進めて行く。

次のトマトの冷製パスタあたりから「白ワインもいいね」などといい始めると止まらなくなるので困ってしまう。

主治医のAON先生に叱られそうである。

## 第227回高知市医師会生涯教育カンファレンス

### commonな呼吸器感染症

#### —その抗菌薬、必要ですか？

近森病院呼吸器内科科長  
中間 貴弘



### 北館仮設病棟の建設

診療支援部部長 寺田 文彦

旧管理棟、北館跡地に北館仮設病棟を建設しております。鉄筋7階建（病床数144床）で、一般撮影室、CT室、生理検査室、病棟、厨房、リハビリ訓練室、医師食堂などを整備します。

災害に備えて、医療ガスや各種エネルギー整備を考慮した建設を心がけたいと思っております。

てらだ ふみひこ

解体工事に入った北館と旧管理棟



呼吸器感染症は、日常診療において最も多くみられる感染症ですが、それらのcommon（一般的）な呼吸器感染症のすべてに抗菌薬が必要なわけではありません。

抗菌薬の投与が不要な疾患に対して抗菌薬を投与することは、耐性菌や抗菌薬による副作用、無駄な医療費を生むことになってしまいます。

これらを適切に鑑別するにはどのように診療していけば良いか、また、抗菌薬が必要な場合はどのように診療を進めていけば良いのかという点についてお話しさせていただきました。

80名を超える多くの方々にご参加いただきました。ありがとうございました。

なかま たかひろ

米国胸部外科学会 in フィラデルフィア the American Association for Thoracic Surgery's 91st Annual Meeting  
エモリー大学病院 in アトランタ Emory University Hospital

## 人と人との関わることを忘れずに

近森病院手術室看護師 和泉 真利枝



フィラデルフィアでは、学会会場で企業展示を見て回り、ロボットが胸腔鏡手術をしている様子や人工心臓の展示、最新の手術器具などを初めて見ることができ、最新医療を体験することができました。ロボットが患者を手術するなんてずっと先のことのように思っていたことが徐々に実現され、こうして目の当たりにすることによって医療が日々進化しているのを身に染みて感じました。

アトランタでは、エモリー大学病院を見学しました。研修前は「アメリカでの医療はすべて最先端なのだろう」という先入観でいっぱいだったのですが、すべてが最先端を進むのではなく、基本に基づき、エビデンスに沿った看護実践が行なわれていたように思われ

ました。実際は私たちと同じような手術室看護が行なわれていて、近森病院の手術



見学先のエモリー大学病院の手術室

室看護も負けてないことに気づくことができました。

全体を通して思ったのは、これからも日々医療が進化するとともに、デジタル化や機械化がされ、労働力の軽減につながり、どんどん利便性が出てくるのではないかと思います。しかし、人と人との関わることや見て聞いて感じることを忘れずに看護していくことを、いちばんに考えることのできる看護をしていきたいと改めて思いました。幸いにも天候にも恵まれ、充実した研修になったと思います。

最後に海外研修は初めての経験で、英語力が未熟という大きな痛手を抱えていたものの、入江先生のお力添えのおかげで、わずかながらもアメリカでの看護を学ぶことができました。貴重な機会を与えていただき本当にありがとうございました。 いずみ まりえ

## 長く続けられる環境

近森病院  
CCU 病棟看護師  
山本 京子



エモリー大学病院の本院に見学に行きました。本院のICUは140床ほどあり、色々な診療科に分かれていました。病院見学をして感じた事は、アメリカの看護師はプライドと専門職の意識が高く、看護師自体のレベルがとても高いことを感じました。

看護師一つとっても色々な資格があり、医者とは区別できないほどでした。きっと、日本とはまったく違う教育プログラムで教育されるため、当然かとは思いますが、また、意外と年配の方が多かったこと。日本の看護師はバーンアウトしたり離職したりすることがあります。長く続けられる職場環境や色々な背景はあると思いますが、年齢を重ねてもずっと看護師を続けられるのはとても素敵だと思いました。

すべてアメリカの方がいいとは思いませんが、プライドと専門職の意識は高くもちつつ、日本人ならではのきめ細やかなサービス精神と助け合いの心は忘れず、これからも自己研鑽していかなければいけないと改めて感じました。 やまもと きょうこ

## 今後の建設の役に立つと

診療支援部主任 奥田 興司



アメリカ研修に行ける話を聞いたときは、五カ年計画の始まりである管理棟の完成間近で、引越の準備まただ中！ 研修は引越完了直後というバタバタが想像されるなか「デザインの国、多民族の国、世界一の医療を間近で見られると、今後の建設に絶対役に立つだろう」との思いで「行きます！」と返事をしました。

今回の研修をするにあたり自分のなかでテーマを設け①多民族国家に対応

する院内や施設のサイン（案内表示）をチェックする②構造や設備機器の内容やシステムをチェックする、の二点に絞りました。

今回見学することができたエモリー大学は宮澤部長の元職場であり、旧友の方々に英語のできない自分を長時間、院内や大学施設を親切に案内していただき、たいへん参考になりました。

おくだ こうじ

## 安全管理意識の高さ

近森病院臨床工学部

急性期CEチーム 坂本 真一



私は手術室で人工心肺業務をしており、エモリーユニバーシティホスピタル/ミッドタウンではそれらを中心に見学させていただきました。そのなかでまず感じたことは、安全管理に対する意識が高いということでした。停電時用の手動式人工心肺ポンプはもちろん、医療ガスアウトレットが止まったときに備え、人工心肺装置に酸素、空気ポンプを設置していたり、交換用の血液回路等を緊急キットとして手術室内の棚に常備していたりと、あらゆる緊急場面を想定しての対応が見受けられました。東日本大震災により安全管

理が一層叫ばれている今、ぜひ当院にも反映したいものになっていました。

人工心肺の手技は当院で行っていることとあまり変わりがなく、今まで自分がやってきたことが通用するのだと少し自信がもてました。ですが、執刀医や麻酔科医と連携した術中管理は、英語がほとんどできない私でも見て分かるほどに綿密で、技術の質も高く、それらを見せていただいただけでも大きな収穫となりました。

さかもと しんいち

## ニューフェイス

①所属②出身地  
③最終出身校  
④家族や趣味のこと、自己アピールなど



堀尾 直裕

ほりお なおひろ①心臓血管外科医師②東京都③東京慈恵会医科大学④研修はもちろんのこと、高知の文化に触れるのも楽しみです。

## お知らせ

- 第 86 回地域医療講演会  
平成 23 年 7 月 25 日 (月)  
17:45 ~ 19:45 管理棟 3 階会議室  
「多職種チームにおける看護職の  
コミュニケーション技術  
～東日本大震災のボランティア  
活動を通してふりかえる～」  
講師 聖路加看護大学精神看護学  
教授 菅間真美先生  
座談会 日本精神科看護技術協会  
専務理事仲野栄先生  
心のケアチーム出向看護師
- 第 87 回地域医療講演会  
平成 23 年 8 月 15 日 (月)  
17:30 ~ 19:00 管理棟 3 階会議室  
「糖尿病とともに生きる  
患者さんを支援する  
～自分らしく生きることを支えよう～」  
講師 日本赤十字看護大学看護実践・  
教育・研究フロンティアセンター  
認定看護師教育課程  
糖尿病看護コース専任教員  
青木美智子先生

## 編集室通信

何の段差もない所で思いっきりこけたり、車の運転が下手になったり、このところ自分の老いを感じる。出来ていたことが出来なくなるってこんなに焦ってしまうものなんですかね？ いわゆる認知機能が低下して起こってくるものらしく、少しでも低下を留めようと「脳トレ」をはじめてみました。いつまでも若いと思っていた自分が……。 由似

## 図書室便り (2011年5月受入分)

- ・ Handbook of Interventional Radiologic Procedures Fourth Edition / Krishna Kandarpa (他著)
  - ・ RADIOLOGY REVIEW MANUAL 7TH EDITION / WOLFGANG DAHNERT
  - ・ 胸部の CT 第 3 版 / 村田喜代史 (他編集)
  - ・ 救急・当直に役立つ画像診断マニュアル / 中嶋康雄 (他監訳)
  - ・ MRI の基本 パワーテキストー基礎理論から最新撮像法まで第 3 版 / 荒木力 (監訳)
  - ・ OS NOW Instruction 整形外科手術の新標準 18 腰椎の手術 ベーシックからアドバンストまで必須テクニック / 馬場久敏 (担当編集)
  - ・ 緊急度判定支援システムプロバイダーマニュアル CTAS2008 日本語版 / JTAS プロトタイプ / 一般社団法人日本救急医学会 (他監修)
  - ・ 泌尿器 Nursing Note 泌尿器科看護手順改訂 2 版 / 西沢理 (監修)
  - ・ 泌尿器科・病理・放射線科 腎盂・尿管・膀胱癌取扱い規約第 1 版 2011 年 4 月 / 日本泌尿器科学会・日本病理学会・日本医学放射線学会 (編集)
  - ・ 泌尿器科・病理・放射線科 腎癌取扱い規約第 4 版 2011 年 4 月 / 日本泌尿器科学会・日本病理学会・日本医学放射線学会 (編集)
  - ・ 病気の日本近代史 幕末から平成まで / 秦郁彦
  - ・ 診療報酬点数表 手術術式の完全解説 2010-11 年版 1202 術式のポイントと適応疾患・使用材料 / 寺嶋裕夫 (監修)
  - ・ 診療報酬 Q & A2011 年版点数から保険制度まですべてがわかる 817 問 / 杉本恵申
  - ・ 第 41 回 日本看護学会論文集 地域看護・看護管理 / 日本看護協会 看護研修学校 (編集)
  - ・ 高知 NEW マップ 2008 年版「平成の大合併」対応版 / 高知新聞社 (編集)
  - ・ 県別マップル 39 高知県道路地図 / 昭文社 (編集)
- 《寄贈本》
- ・ 現場をイキイキさせる！ 育成・連携・交渉の上手な会話術 / 池田優子
  - ・ JMP (ジャンプ) ブックス 16 病医院経営に生きる金言 50 / 中野隆男
  - ・ 心エコー図読影のポイント改訂 2 版 / 土居義典 (他著)
- 《別冊・増刊号》
- ・ 別冊 医学のあゆみ 知っておきたい動物の感染症 / 佐藤真澄 (他編集)
  - ・ 総合臨床 Vol.60 増刊 日常診療でよくみる症状・病態 診断の指針 治療の指針 / 松浦三男 (編集)
  - ・ 病理と臨床 Vol.29 臨時増刊号 病理診断に役立つ分子生物学 / 金井弥栄 (他編集)
  - ・ 透析ケア 2011 年夏季増刊アセスメントの視点がわかる！ ケアの質が UP する！ 透析室の標準看護計画 59 / 岡山ミサ子 (編著)
  - ・ 呼吸器ケア 2011 年夏季増刊もう怖くない！ 人工呼吸器マスターガイド / 大塚将秀 (編著)
  - ・ JIN SPECIAL No.91 これだけは知っておきたい糖尿病 / 榊田出 (編集)
- 《視聴覚資料》
- ・ DVD で学ぶ透析患者合併症の病態と対策 / 栗原怜 (監修)
  - ・ ナイチンゲール「看護覚え書き」より 病気は回復過程である / 映画『看護覚え書き』をつくる会 (監修)

## 2011年5月の診療数 企画情報室

### 近森会グループ

外来患者数	17,903 人
新入院患者数	774 人
退院患者数	758 人

### 近森病院

平均在院日数	16.59 日
地域医療支援病院紹介率	81.39 %
救急車搬入件数	417 件
うち入院件数	213 件
手術件数	401 件
うち手術室実施	271 件
→うち全身麻酔件数	161 件

- 平成 23 年 5 月度県外出張件数 117 人
- 件数 52 件 延べ人数 117 人